

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		小さな目のクジラ津・久居				公表日	令和7年 1月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11			現状問題なく対応しております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11			新規スタッフを雇用し、柔軟に対応出来るよう図っております		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	絵カード等を使用し、危険箇所を可視化するように取り組んでいます。集団活動でもKYT活動を行い児童の目線での危険箇所を選定し対応しています。	賃貸物件の為十分な配慮が整っている事はないですが、現状問題ないです。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			終業時に必ず除菌清掃を行い清潔を保っています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		児童から職員へ報告を行い利用の表示板へ書き込みを行う。他の職員もどの児童がいつ何を行うためにどこに居るのか把握出来るよう連携しています。	ルールを決めたうえで利用して頂いています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1		スタッフからの打上をを基に改善を行っています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		評価表以外にも日常から保護者の方からのご意見を基に業務改善を行っております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		日々の朝礼にて打ち上げを行って頂き、改善に繋がっています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11		第三者評価は受けていませんが、保護者様の意見から業務改善に繋がっています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			虐待防止・防災対策、感染症予防等資料を用い研修を行っています。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		日々の連絡帳にてご利用時の様子等をお伝えしております。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			お子様や保護者様からの聞き取り、関係機関との情報共有を図りながら、計画を作成しています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		ミーティングであげられた内容も踏まえ計画書を作成しています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		個々の情報を書庫にて保管し、情報を共有し支援を行えるようにしています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	日々の療育記録による意見交換や子供の特性についての行動観察を日々共有しています。	日々の療育活動だけでなく、ご家庭や学校での様子からスタッフでアセスメントを重ね、お子様たちの個別支援計画に反映しています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1	職員間で話し合いを重ね、必要な項目を考えた上で、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	曜日ごとのプログラムをスタッフ間で話し合い行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	1か月毎のプログラムを立て、検討しながら進めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		子供の特性に合わせ、集団と個別を組み合わせながら、利用者の希望などを傾聴し必要に応じて臨機応変に対応し計画案を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		お迎え前や下校時間前の時間を用い、その日の支援内容やスタッフの役割について話し合い確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		支援終了後や翌日に前回の振り返りと反省を行い改善点を上げ共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		必ず当日中に療育記録を制作し、支援についての振り返りを翌日行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	定期的に面談を行い、利用者やご家族の要望などを受け適宜見直しを行っています。	職員全体での意見交換を更に頻繁に行うようにします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	5		地域交流の機会の提供に対し不十分な状況となっております。どのような開拓していくかを検討し計画していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		物事の決定を本児の意思に任せ強要の内容に取り組んでいます。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		必要に応じて連絡を行い連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		学校お迎え時に可能な限り学校行事や下校時間の変更の確認を行い、必要に応じて各学校に電話連絡して情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		児童発達支援事業所と引継ぎを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		卒業前より相談支援事業所との連携を図っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		11		今後は積極的に研修に参加できるように努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		11		今後は地域の子供との交流の場を設けるように努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		11		自立支援協議会への参加に努めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎時や連絡長を通じて、こどもたちの様子については、密に共有している	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	8		ペアトレーニング研修は今年中に実施できるように企画しています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		見学、面談時に需要事項説明等を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		できるだけ子どもや保護者の意見を尊重しながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			計画書を作成し同意を頂いています。時間の都合で十分ではない場面もあるため、真摯に対応出来るよう計画を行います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		送迎時、連絡帳を基に面談や相談等に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		11		児童優先の療育活動が多かったため父母参加型の療育活動を立案していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		苦情についてはできるだけ迅速に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		活動行事をHPにて、子供たちの様子や活動内容について詳しく発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報の取り扱いには十分注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		絵カード、ホワイトボード等を用い工夫しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		現状行っていない為、今後企画を検討実施していけるようしていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		11	各種マニュアルは策定済。感染症に対する訓練は定期的に行っているが、事故・防犯訓練が現状あまりできていない。	今後は、事故・防犯に関する訓練を積極的に実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		定期的に災害・避難訓練は行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		服薬やてんかん発作やアレルギー体質の子どもの状況は共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		保護者からの申し出により把握しています。	医師の指示書があれば提出してもらうように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画は作成し常に必要な措置については検討を重ねています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		11		事業所内での連携は行っているが家族等への周知は今後周知に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハット事案が発生した時は事業所内ですぐに共有し、再発防止策を都度検討しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		虐待防止の疑い事案については、毎日のミーティングで都度振り返り、適切な対応であったかを検討しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		現在身体拘束が必要な利用者は該当なし		